

### 第3学年 算数科 単元計画

(土佐清水市立清水小学校)

#### 1 単元構想図

単元名 「はしたの大きさの表し方を考えよう」(全12時間)

教材名 『小数』(東京書籍3年下)

#### ◆学習の流れ

##### 第1次 1・2時

- 整数で表せない端数部分の表し方を考える。
  - ◆体積について端数部分の表し方を考えさせる。

##### 第1次 3時

- 長さ(cm)の場合も小数を用いて表すことができるのか考える。
  - ◆1cmを10等分して、テープの長さを小数を使って表させる。

##### 第1次 4時

- 数直線に表された小数を読み方を理解する。
  - ◆整数の数直線と関連づけて説明させる。

##### 第2次 1時

- 小数の構成に目を向け、数の仕組みを考える。
  - ◆小数の構成に注目し仕組みを調べさせる。

##### 第2次 2時

- 小数の大小関係について理解する。
  - ◆数直線を使って小数の大小を比べさせる。

#### ◆意識の流れ

##### 【児童の実態】

児童の身近には小数で表されている物が数多くあり馴染みがある。

絵や図、式を用いて考えることはできるが、伝えることが苦手な児童もいる。

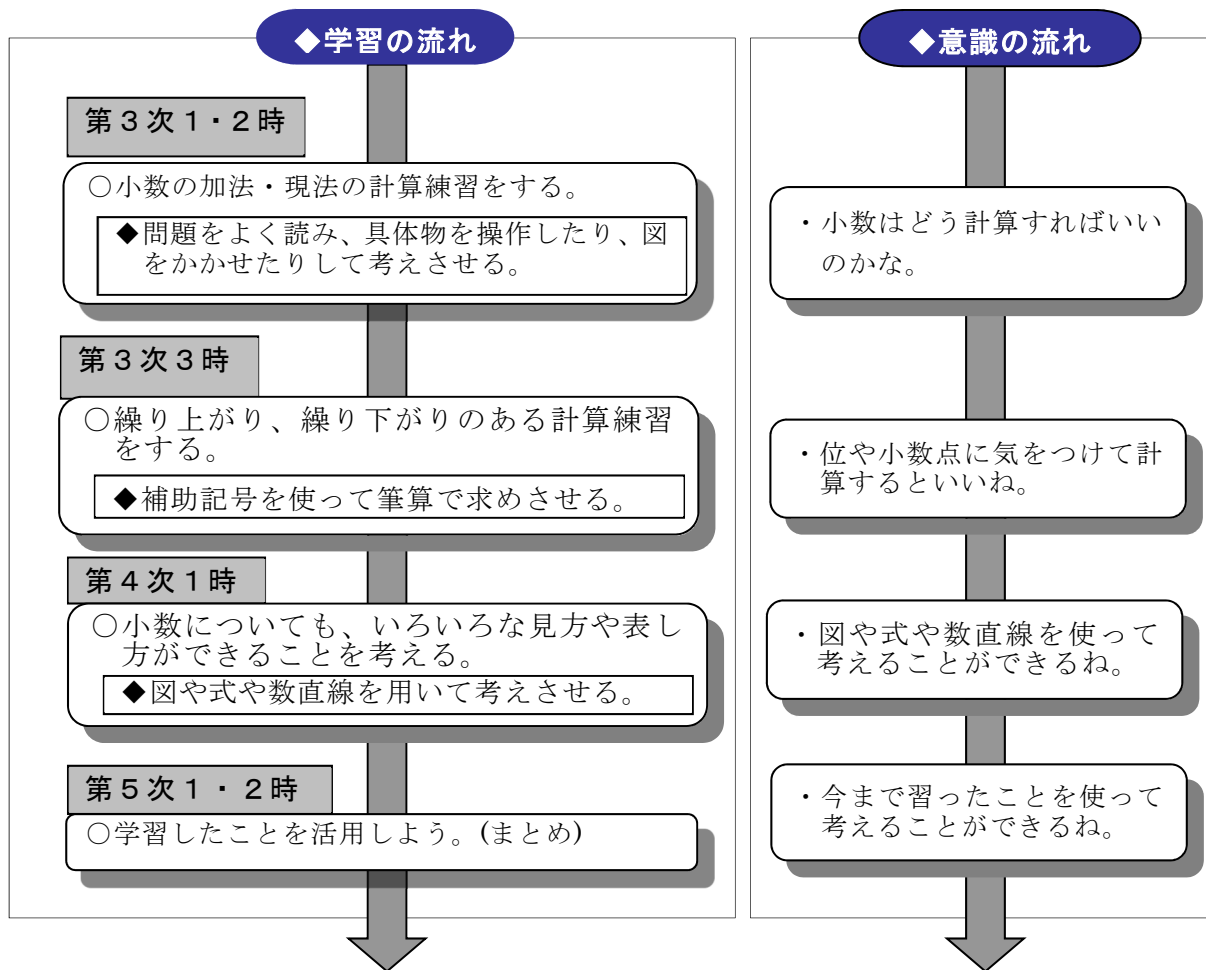
・1Lより少ないかさは、どう表すのかな。

・長さも小数で表せるね。

・整数と同じように、10等分すると小数も数直線に表せるね。

・1より小さな位の表し方があるんだな。

・整数と同じように、等号や不等号で小数も表せるね。



**【単元でつきたい力】**

- ・端数部分の大きさを表すのに小数を用い、図、式、数直線を使って伝えることができる。
- ・1 / 10の位までの小数の加法・減法ができる。

## 2 単元について

### (1) 単元観

本単元は、小数の意味や表し方について理解し、小数の加減計算ができるようにすることがねらいである。はしたの大きさを表すのに、整数だけでは不十分であり、小数を用いることで数値化できるよさを味わわせたい。

本単元の内容については、学習指導要領には以下のように位置づけられている。

第3学年 A数と計算

(5) 小数の意味や表し方について理解できるようにする。

ア 端数部分の大きさを表すのに小数を用いること。また、小数の表し方及び1 / 10の位について知ること。

イ 1 / 10の位までの小数の加法及び減法の意味について理解し、計算の仕方を考え、それらの計算ができること。

第2学年では長さや体積の測定に関連して、「7 cmと3 mm」、「2 Lと6 d L」等の複名数の表し方を学習してきた。第3学年では、端数部分の大きさを表すのに小数「7.3 cm」「2.6 L」等の単名数を用いることを学習する。

小数は、整数の十進位取り記数法の考えを1より小さい数に拡張したものである。小数を用いると1に満たない端数部分の量を数値化できることを理解させ、小数も整数と同じ仕組みであることに気づかせたい。そのためには、小数を整数と同じ数直線上に表し、大小や順序についての関係を調べたり、0.1の何個分と考えれば整数と同じ見方ができることや、10こ集まると1つ上の位に繰り上がることなど整数との関連から説明したりできるようにすることが大切である。

また、 $1/10$ の位までの小数の加法、減法の計算は、0.1を単位としてその何個分で考えれば整数と同じ方法でできる。この0.1を基にした考えや位ごとに計算する考えを十分に理解させ、小数の構成と形式を整数と関連づけて指導し、第4学年での $1/100$ 以下の小数の加減の筆算を考える上での根拠となるようにしたい。

## (2) 児童観

本学年の児童は、算数の授業に対し好意的な児童たちではあるが、今年度当初の算数の授業では、既習事項を基にした課題の解決方法を考えつくことができず、どのように考えを書けばよいのか、説明すればよいのかということも理解が不十分であった。

そこで、数学的な考え方が求められる時間において、筋道を立てて論理的に考えを書かせる指導の工夫や、考えを伝え合い互いの考えについてさらに吟味させていく指導の工夫を行ってきた。その結果、現在では、課題の解決方法を考え、その方法に基づいて解く過程を経て、結果を導き、それらをノートに書くことができるようになってきた。さらに、集団での解決の場では、相手の考えに対して、疑問を投げ掛けたり、全員で出された考えをさらに正確なものにするために、足りなかった考えを加えたりすることも多く見られるようになってきた。論理的に考えを書かせることや論理的な考えになっているか全員で吟味していく活動の積み重ねにより、数学的な思考が少しずつ養われ、課題の解決法を表現する力も着実に身に付けることができている。

## (3) 指導観

本単元では、児童は日常生活の中で、体重・身長・靴のサイズ・飲料水の量の表記・体温計など小数を目にすることが多く、小数は身近に感じられる数である。しかし、その意味やしくみについては初めて学習するので、0.1など1よりも小さい数があることに驚き、とまどいがあると予想される。そのために身の回りの小数の表記のあるものを授業の導入に取り入れ、興味・関心を持たせながら学習を進めていきたい。

単元導入場面では、1Lよりも少ない量を量ったり、mmをcmで表したりする具体的な活動から、小数を使って表すことを体験的にとらえさせたい。さらに、0.1のまとまりが10個集まると1になるということを学び、小数が整数と同じように十進位取り記数法に基づいていることに気づかせたい。

数直線を使った指導では、0と1、1と2などの間をさらに10等分した数直線を用いて10に区切っている1目盛り分はどんな大きさを表すのか考えさせたい。また、0.1のいくつ分と考えることで、小数も整数と同じような見方ができるようにする。この考えは本時の加法、次時の減法の計算につながるものであり、十分理解させたい。

本時の導入では、3種類の大きさのペットボトルを用意し、どの容器なら問題の $0.5 + 0.3 = 0.8$ を入れることができるのか見通しを持って、答えを導き出せたらよいと考える。そして小数の加法・減法では、具体的な問題場面において既習事項を活かし、マスの図や数直線、単位換算などを使い考えさせたい。そしてそれらの考えに共通することとして0.1のいくつ分という考え方を見つけさせ、整数と同じように小数も計算することができることを理解させる。その際に、計算の意味を考えずに形式的に処理しないように指導していきたい。また、理解が困難な児童には、やってみようコーナーで具体物操作を行い、理解させたい。

学習形態では、まず一人学習で自分の考えをノートにわかりやすくまとめる。次にペア学習・全体学習で友だちと考えを共有することで、学び合いの力を身につけさせたい。そのために伝え合いの時間を十分に確保し、友だちの考えと自分の考えを比較しながら聞くようにさせる。そして自分の考えを深め、新しい考えを導きださせていきたい。

## 3 単元の見どころ

小数の意味や表し方について理解し、小数の加減計算ができるようにする。

#### 4 単元の評価規準

算数への 関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての 技能	数量や図形について の知識・理解
小数を用いると整数で表せない端数部分の大きさを表せるよさに気付き、進んで小数を生活や学習に活用しようとしている。	小数は整数の十進位取り記数法を拡張していることをとらえ、小数の仕組みや構成、加減計算の仕方を考え、表現することがしている。	端数部分の大きさを小数を使って表したり、 $1/10$ の位までの小数の加減計算をしたりしている。	端数部分の大きさを小数を使って表したり、 $1/10$ の位までの小数の加減計算をしたりしている。

#### 5 指導と評価の計画（前12時間）

次	学習内容（時数）	評 価					
		関	考	技	知	評価規準	評価方法
第一 次	<ul style="list-style-type: none"> <li>水を1Lのますではかったときの1Lに満たないはしたのかさの表し方を考える。</li> <li>1Lを10等分した1こ分のかさを「0.1L」ということを知る。</li> <li>はしたのかさはその3こ分で0.3Lで、合わせて1.3Lになることを知る。（1）</li> </ul>	◎				【関】身の回りにある小数に関心をもち、小数が用いられる場合について考えようとしている。	発言 ノート
	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時の学習を振り返りながら小数を使ってはしたの大きさを表す。</li> <li>用語「小数」「小数点」「整数」を知る。（1）</li> </ul>				◎	【知】用語「小数」「小数点」「整数」を知る。	ノート
	<ul style="list-style-type: none"> <li>8cm7mmのテープの長さをcm単位で表すことを考える。</li> <li>長さや重さの量について、小数を使った単名数での表し方を考える。（1）</li> </ul>				◎	【知】小数を用いると、2つの単位で表していた大きさを1つの単位で表せることを理解している。	発言 ノート

次	学習内容（時数）	評 価					
		関	考	技	知	評価規準	評価方法
第二次	<ul style="list-style-type: none"> <li>数直線に表された小数を読んだり、数直線に小数を表したりする。</li> <li>「小数第一位」の用語を知り、小数の位取りについて考える。(1)</li> </ul>		◎			【考】整数の数直線と関連づけて、数直線上の小数の読み方を考え、説明している。	発言 ノート
	<ul style="list-style-type: none"> <li>数直線を使って、小数の大小を考える。</li> <li>小数の大小を比較する時には、整数の場合と同じように、位の数字に着目すればよいことをまとめる。(1)</li> </ul>		◎			【考】数直線や構成を基に、小数の大小を考え、表現している。	発言 ノート
第三次	<ul style="list-style-type: none"> <li>場面をとらえ、立式について考える。</li> <li><math>0.5 + 0.3</math>や<math>0.4 + 0.7</math>の計算の仕方を、<math>0.1</math>を単位として考える。(1)</li> </ul>		◎			【考】小数の加減計算の仕方を、小数を $0.1$ の何こ分とみることで既習の整数の計算に帰着して考え、説明したりまとめたりしている。	発言 ノート
	<ul style="list-style-type: none"> <li>場面をとらえ、立式について考える。</li> <li>前時の学習を使って、<math>0.8 - 0.3</math>や<math>1.4 - 0.6</math>の計算の仕方を考える。(1)</li> </ul>			◎		【技】小数第一位どうしの加法とその逆の減法の計算ができる。	発言 ノート

次	学習内容（時数）	評 価					
		関	考	技	知	評価規準	評価方法
第四次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2.8を数直線に表し、いろいろな見方や表し方を考える。</li> <li>・他者の考えを読み取り、図や式や数直線で表す。</li> <li>・2.8は数の構成や、相対的な大きさを基にするといろいろな表し方ができることをまとめる。（1）</li> </ul>		◎			【考】小数の仕組みを基に、数直線や式を用いて、2.8の多様な見方について考え、表現している。	発言 ノート
第五次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「力をつけるもんだい」に取り組む。（1）</li> </ul>			◎		【技】学習内容を適用して、問題を解決することができる。	発言 ノート
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「しあげのもんだい」に取り組む。（1）</li> </ul>				◎	【知】基本的な学習内容を身につけている。	発言 ノート

## 6 展開

### ◆第1次1・2時（1・2／12）

本時の目標	整数で表せない端数部分の大きさを表すのに小数が用いられることを理解する。		
観点別評価規準	【関】身の回りにおける小数に関心を持ち、小数が用いられる場合について考えようとしている。		
準備物	挿絵 水筒 Lます		
学習の展開			
学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
<p>1 問題文を読み、題意をとらえる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>水とうに入る水のかさを、1Lのますではかったら、1Lとあと少しのはしたがありました。</p> <p>水とうに入る水のかさは、何Lといえよいでしょうか。</p> </div> <p>・水とうにはいるかさは何Lといえるか考える。</p>	<p>・これから1より小さいはしたの数について学習することを明確にする。</p> <p>・水を1Lのますではかったときの1Lに満たないはしたのかさの表し方を考えさせる。</p>	<p>【関】身の回りにおける小数に関心を持ち、小数が用いられる場合について考えようとしている。</p>	<p>発言 ノート</p>
<p>2 本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>1Lより少ないかさを、Lで表す方法を考えよう。</p> </div> <p>・今まで学習したことで使えそうなことはないか考える。</p>			
<p>3 自力解決をする。</p>	<p>・cmとmmなど会単位の学習を想起させる。</p> <p>・1Lますの図は、児童の実態に応じて方眼のあるものとないものを使い分ける。</p>		
<p>4 考えを発表し合い、検討する。</p> <p>(1) ペアやグループで</p> <p>(2) 全体で 《言語活動》</p>			
<p>5 まとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>1Lを10等分した1こ分のかさを「0.1L」と表す。</p> </div>			
<p>6 算数日記を書く。</p>			

◆第1次3時（3／12）

本時の目標	長さ（cm）の場合も小数を用いて表すことができ、小数を用いると単名数で表すことができることを理解する。		
観点別評価規準	【知】小数を用いると、2つの単位で表していた大きさを1つの単位で表せることを理解している。		
準備物	挿絵		
学習の展開			
学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
<p>1 問題文を読み、題意をとらえる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">             下のテープの長さの表し方を考えよう。         </div>			
<p>2 本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">             答えの見つけ方を考えよう。         </div>			
<p>3 自力解決をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>求め方が分からない児童には、絵や図などを使って答えを求めたことを想起させる。</li> </ul>	<p>【知】小数を用いると、2つの単位で表していた大きさを1つの単位で表せることを理解している。</p>	ノート
<p>4 考えを発表し合い、検討する。</p> <p>(1) ペアやグループで</p> <p>(2) 全体で《言語活動》</p>			
<p>5 まとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">             小数を使うと一つの単位で表すことができる。  <math>8\text{cm } 7\text{ mm} = 8.7\text{cm}</math> </div>			
<p>6 適用問題を解く。</p> <p>P6 △5～7</p>			
<p>7 算数日記を書く。</p>			



◆第2次1時（4／12）

本時の目標	用語「小数第一位」を知り、数直線に表された小数を読んだり、数直線に小数を表したりすることができる。		
観点別評価規準	【考】整数の数直線と関連づけて、数直線上の小数の読み方を考え、説明している。		
準備物	挿絵		
学習の展開			
学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
<p>1 問題文を読み、題意をとらえる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">             小数を数直線に表しましょう。         </div>			ノート 発言
<p>2 本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">             数直線にどう表せばいいか考えよう。         </div>			
<p>3 自力解決をする。</p>			
<p>4 考えを発表し合い、検討する。</p> <p>(1) ペアやグループで (2) 全体で《言語活動》</p>			
<p>5 まとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">             小数も整数と同じように数直線に表すことができる。         </div>			
<p>6 適用問題を解く。</p> <p>P7 △8 から 10</p>			
<p>7 算数日記を書く。</p>			

◆第2次2時（5／12）

本時の目標	小数の大小関係について理解することができる。		
観点別評価規準	【考】整数の数直線と関連づけて、数直線上の小数の読み方を考え、説明している。		
準備物	挿絵		
学習の展開			
学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
<p>1 問題文を読み、題意をとらえる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>147.2という数のしくみを調べましょう。</p> </div> <p>2 本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>答えの見つけ方を考えよう。</p> </div> <p>3 自力解決をする。</p> <p>4 考えを発表し合い、検討する。          (1) ペアやグループで          (2) 全体で          《言語活動》</p> <p>5 まとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>小数も位がある。小数点より右にある位は、「小数点第一位」という。</p> </div> <p>6 適用問題をする。          P8 △1をとく。</p> <p>7 算数日記を書く。</p>	<p>・求め方が分からない児童には、整数の時、どんな数直線を書いて答えを求めたことを想起させる。</p>	<p>【考】整数の数直線と関連づけて、数直線上の小数の読み方を考え、説明している。</p>	<p>発言 ノート</p>

◆第3次1時（6／12）

本時の目標	小数第一位どうしの小数の加法とその逆の減法の計算の仕方を理解し、それらの計算ができる。		
観点別評価規準	【考】数直線や構成を基に、小数の大小を考え、表現している。		
準備物	挿絵、数字カード		
学習の展開			
学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
<p>1 問題文を読み、題意をとらえる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">2.9と3とでは、どちらが大きいでしょうか。</div> <p>2 本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">答えの見つけ方を考えよう。</div> <p>3 自力解決をする。</p> <p>4 考えを発表し合い、検討する。</p> <p>(1) ペアやグループで</p> <p>(2) 全体で 《言語活動》</p> <p>5 まとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">大きいくらいの数字からくらべる。数の大きさは、不等号を使って表すことができる。</div> <p>6 適用問題をする。</p> <p>P 8 △2～4をとく。</p> <p>7 算数日記を書く。</p>	<p>・ 求め方が分からない児童には、絵や図、数直線などを使って答えを求めたことを想起させる。</p>	<p>【考】数直線や構成を基に、小数の大小を考え、表現している。</p>	<p>ノート</p>

◆第3次2・3時（7・8／12）

本時の目標	小数第一位どうしの小数の加法とその逆の減法の計算の仕方を理解し、それらの計算ができる。		
観点別評価規準	【考】小数の加減計算の仕方を、小数を0.1の何こ分とみることで既習の整数の計算に帰着して考え、説明したりまとめたりしている。		
準備物	挿絵		
学習の展開			
学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
<p>1 問題文を読み、題意をとらえる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                 ジュースが大きいびんに0.5L、小さいびんに0.3Lが入っています。 あわせて何Lありますか。             </div> <p>2 本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                 計算の仕方を考えよう。             </div> <p>3 自力解決をする。</p> <p>4 考えを発表し合い、検討する。                  (1) ペアやグループで                  (2) 全体で                  《言語活動》</p> <p>5 まとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                 小数の計算は、整数の時と同じように計算ができる。             </div> <p>6 適用問題をする。 P11 △2をとく。</p> <p>7 算数日記を書く。</p>	<p>・求め方が分からない児童には、絵や図などを使って答えを求めたことを想起させる。</p>	<p>【考】小数の加減計算の仕方を、小数を0.1の何こ分とみることで既習の整数の計算に帰着して考え、説明したりまとめたりしている。</p>	<p>ノート 発言</p>

◆第3次4時（9 / 12）

本時の目標	小数第一位までの小数の加減法の筆算の仕方を理解し、それらの計算をすることができる。		
観点別評価規準	【考】 小数の仕組みや整数の筆算を基に、小数の加減法の筆算の仕方を考え、説明したりまとめたりしている。		
準備物			
学習の展開			
学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
<p>1 問題文を読み、題意をとらえる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <math>2.5 + 1.8</math> の筆算のし方を考える         </div> <p>2 本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">           答えの見つけ方を考えよう。         </div> <p>3 見通しを持つ</p> <p>4 自力解決をする。</p> <p>5 考えを発表し合い、検討する。</p> <p>(1) ペアやグループで (2) 全体で 《言語活動》</p> <p>6 まとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">           整数の筆算と同じように、位をそろえて計算する。            答えが <math>9.0</math> になったら、<math>0</math> をななめ線で消す         </div> <p>7 適用問題 P12 △4をとく。</p> <p>8 算数日記を書く。</p>	<p>・既習の学習を振り返らせる。</p> <p>・求め方が分からない児童には、絵や図、数直線などを使って答えを求めたことを想起させる。</p>	<p>【考】 小数の仕組みや整数の筆算を基に、小数の加減法の筆算の仕方を考え、説明したりまとめたりしている。</p>	<p>ノート 発言</p>

◆第4次1時（10／12）

本時の目標	小数についても、いろいろな見方や表し方ができることを理解する。		
観点別評価規準	【考】小数の仕組みを基に、数直線や式を用いて、2.8の多様な見方について考え、表現している。		
準備物	挿絵、線分図		
学習の展開			
学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
<p>1 問題文を読み、題意をとらえる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">2.8 はどのような数かいいましょう。</div> <p>2 数直線を使って表そう。</p> <p>3 本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">2.8 はどのような数か考えよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習の学習を振り返らせる。</li> </ul>	<p>【考】小数の仕組みを基に、数直線や式を用いて、2.8の多様な見方について考え、表現している。</p>	<p>ノート 発言</p>
<p>4 自力解決をする。</p> <p>5 考えを発表し合い、検討する。</p> <p>(1) ペアやグループで</p> <p>(2) 全体で</p> <p style="text-align: center;">《言語活動》</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>求め方が分からない児童には、絵や図、数直線などを使って答えを求めたことを想起させる。</li> <li>友達の考えを知る。</li> </ul>		
<p>6 まとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">2.8 を2といくつとみたり、0.1 の何こ分と考えたりすると、いろいろな表し方ができる。</div>			
<p>7 適用問題をする。</p> <p>P15 △1をとく。</p>			
<p>8 算数日記を書く。</p>			

◆第5次1時（11／12）

本時の目標	学習内容を適用して問題を解決する。		
観点別評価規準	【知】基本的な学習内容を身につけている。		
準備物	挿絵、線分図		
学習の展開			
学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
<p>1 問題文を読み、題意をとらえる。</p> <p>△ 1～5の問題に取り組む。</p>	<p>・既習の学習を振り返らせる。</p>		
<p>2 本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>図や式や数直線を使って考えよう。</p> </div>			
<p>3 自力解決をする。</p>	<p>・求め方が分からない児童には、絵や図、数直線などを使って答えを求めたことを想起させる。</p>		
<p>4 考えを発表し合い、検討する。</p> <p>(1) ペアやグループで</p> <p>(2) 全体で</p> <p style="padding-left: 40px;">《言語活動》</p>	<p>・問題の解決方法を説明させる。</p>		
<p>5 まとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>図や式や数直線を使って考えると、求められる。</p> </div>			
<p>6 練習問題</p> <p>・計算ドリルをとく。</p>		<p>【知】基本的な学習内容を身につけている。</p>	ノート
<p>7 算数日記を書く。</p>			

◆第5次2時（12／12）

本時の目標	学習内容を適用して問題を解決する。		
観点別評価規準	【技】学習内容を適用して、問題を解決することができる。		
準備物	数直線		
学習の展開			
学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
<p>1 問題文を読み、題意をとらえる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「しあげのもんだい」を とこう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ◇ 1～3の問題をとく。</li> </ul> <p>2 本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">今まで学習したことを使って考えよう。</div> <p>3 自力解決をする。</p> <p>4 考えを発表し合い、検討する。</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) ペアやグループで</p> <p style="margin-left: 20px;">(2) 全体で</p> <p style="margin-left: 40px;">《言語活動》</p> <p>5 まとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">今まで学習したことを使うと考えることができる。</div> <p>6 練習問題をやる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計算ドリルをとく。</li> </ul> <p>7 算数日記を書く。</p>	<p>・ 求め方が分からない児童には、絵や図、数直線などを使って答えを求めたことを想起させる。</p>	<p>【技】学習内容を適用して、問題を解決することができる。</p>	<p>ノート</p>